

# 娘の将来は、 当たり前前のように あったはずでした。

西田 誠一さん(広島市安佐北区)

「将来は保育士になりたい」。4人姉妹の長女だった朝美は、短大の幼児教育科で熱心に学び、充実した毎日を送っていました。しかし19歳の春、夢をかなえることなく、飲酒運転の車に命を奪われました。死の直前まで、恐怖と混乱に襲われながら。

2014年3月2日。あの日は昨日のように覚えていて、日曜日の夕刻でした。習いごとに出かけていた私たちが家に戻ると、次女が泣きながら、玄関先まで飛び出して、震える声で言いました。

「お姉ちゃんが事故にあつて病院に運ばれたから、すぐに来てくださいって連絡があつた」。

その日、朝美は中学時代の同級生に誘われて女友たち2人とバーベキューの集まりに出かけていました。初対面の人がほとんどという集まりで気が進まなかったものの、親友が一緒なので安心したようです。

動揺しながらも私たちはすぐ病院に向かいました。車中、妻は携帯電話で病院に問い合わせ続けましたが、答えは「分からない」の一点張りでした。胸騒ぎや不安は大きくなるばかりでした。

病院の救急処置室に着いても、何も分かりませんでした。けがの担当を受ける女友たちの泣き声は聞こえても朝美の姿はどこにも見当たりません。

廊下に出た時です。エレベーターの扉が開き、白いシートに覆われた担架が医師や看護師らの手で運ばれてきました。私は思わず担架に歩み寄り、シーツの端をめぐり上げました。

ストッキングを履いた足が見えました。「朝美ですか」と声を振り絞ると、医師は黙って首を縦に振りました。目の前が真っ白になり、全身が崩れ落ちていくような感覚に襲われました。妻も子どもたちもその場に泣き崩れました。私は涙を流しながら、何度も床を叩いていました。

私たちが朝美に会えたのは、それから1時間くらい経ってからでした。

朝美は、変わり果てた姿で処置室のベッドに横たわっていました。つややかだった顔は傷つき腫れ、長くて美しく輝いていた髪は、血と草、泥で絡まってほぐれません。腕や脚の向きが明らかに違って、体中の骨が折れていることが分かりました。「私の体と代わってやりたい、代わってほしい」。朝美の細い指を何度も何度もさすりながら、そう願いました。身を引き裂かれる思いでした。

一体、朝美はどんな事故に巻き込まれたのか。誰もはっきりと教えてくれませんでした。どうしても真相を知りたくて、葬儀の翌日に警察署を訪ねた時、全てが明らかになりました。

あの日、バーベキューのあったキャンプ場には15、20人くらいの若者が入れ代わり立ち代わり集まって、酒や食事をしていたそうです。一升瓶をラッパ飲みするなど、悪ふざけをする者もおり、荒れた雰囲気だったといえます。彼らとの関わりを避けようと、娘たち3人は完全に別行動を取りました。先に帰宅するため、軽ライトバンを借りて乗車したところ、後から強引に乗り込んだのが、それが回らないほど、泥酔した当時19歳の元少年でした。元少年は朝美たちとはまったく面識のないにも関わらず、「俺が送る」と運転席にいた友人を押しつけて無理矢理、車を発進させたのです。

元少年は加速と減速を繰り返しながら、走行させました。「もう止めて」と、3人が悲鳴を上げても、「そう言われたらもっとやりたくなる」とさらに加速させたのです。そして、車は少なくとも70km/h以上のスピードで、安佐南区八木の県道にさしかかりました。そこは片側1車線で見通しの良い緩やかな右カーブだったにも関わらず、ライトバンは曲がり切れずに道路左側の電柱に衝突。4人下の太田川河川敷に転落したのです。

右後部座席に座っていた朝美は、電柱に激突した衝撃で開いたスライドドアから投げ出され、河川敷のコンクリートブロックに全身を強く打ちつけられ、命を落としました。

私たちが警察署を訪ねた日、この事故現場に連れていかれました。朝美が倒れていた辺りの土や落ち葉には、大量の血が付いていました。

朝美の友だち2人は1カ月の重症。元少年は無傷でした。半年後、判決公判が広島地裁であり、元少年に懲役3年の実刑が言い渡されました。

私たちは今でも朝美の死を受け入れることはできません。部屋も玄関の靴もあの日のままで、朝夕の食事朝美の席にも毎日、並べています。

みんなと同じように成人し、保育士の夢をかなえ、やがて結婚して幸せな家庭を築いてくれると思っていました。当たり前前のようにあった朝美の将来は、一瞬にしてなくなってしまう。夢半ばで命を奪われた朝美を思うと、いつも無念さと悔しさで胸が張り裂けそうになります。

飲酒運転は多くの人を傷つけ、本人や家族の人生を変えてしまう犯罪です。しかし本人の意識次第で事件や事故は必ず防げるはず。私たちのような辛い思いをする人がこれ以上、出ないよう願うばかりです。

## 命を守る、命をつなげる。

飲酒運転ゼロPROJECTは、これからも飲酒運転根絶への取組みを行っていきます。

(絵:nakaban) この背景の絵は生前、朝美さんが好きだった「ひまわり」をモチーフに描かれたものです。



### 「ゼロの誓いメッセージ」募集

プロジェクトでは、飲酒運転がゼロとなる社会を目指すため、みなさまから「ゼロの誓いメッセージ」を募集しています。飲酒運転根絶のためには、まず自らが意思表示することからはじまると考えています。その思いをプロジェクトにお寄せください。プロジェクトの紙面やホームページなどでご紹介いたします(一部)。詳しくはホームページをご覧ください。www.zero-hiroshima.net

広島 飲酒運転ゼロ

DVD視聴と青のリストバンドをご希望の方は19面をご覧ください。

### 2016年広島県内飲酒運転事故件数

\*飲酒運転事故の定義/自転車、車両(単独事故も含む)のドライバーが飲酒していた場合。

1月の合計	2015年	2016年	前年比
事故件数	6	9	+3
死者数	0	1	+1
負傷者数	8	11	+3

※血液濃度の結果などで、事故件数・死者数・負傷者数が変わることがあります。

私たちはゼロの応援団です。

www.zero-hiroshima.net

特別協賛	Asahi	沼田自動車学校	EBS Evidence Based Selfmedication	AFROSIS	チェリーゴード	I-LA I-LA 館	木村眼科内科病院	Grand Prince Hotel Hiroshima	Volkswagen 広島	Audi 広島	SAKATA INX...
シモバ物流	メルセデス・ベンツ広島西	積和不動産中国	JA共済	JAバンク広島	ジャガー広島	ランドローバー広島	タイハツ広島販売	中国放送	alfresa ティーエスアルフレッシュ株式会社	DICグラフィックス株式会社	tssテレビ新広島
トータルグループ	セントラルシティ ココロ	安芸茶寮	JT	ネオスグループ ニムラ自動車	広島工エム放送	広島銀行	ひろしま好いね	広島県医師会 HIROSHIMA Prefectural Medical Association	公益社団法人 広島県看護協会	広島県信用組合	広島県倉庫協会
復建調査設計	50th 広島工業大学 同窓会	広島商銀	広島商工会議所	広島女学院大学	広島信用金庫	広島スバル	広島テレビ	Carp	広島トヨペット	広島ホームテレビ	広島三菱自動車販売
	もみじ銀行	マイハウス	安田学園	特別協力	広島県	広島県警察	広島県交通安全協会	広島市	(順不同)		企画/中国新聞社